

---

# ワライゴエ

要徹

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ワライゴエ

### 【Nコード】

N04880

### 【作者名】

要徹

### 【あらすじ】

「君は笑うことが大好きなんだね。僕にもその感情を分けておくれよ」

ある世界のある国に、この世に生を受けて四十年、一度も笑ったことのない王がいた。感情をどこかに置き忘れたかのように無表情で、いつもため息ばかりついていた。そのためか国政すらままならぬ。さらに、最近では敵国がこちらに侵攻してくるとの噂もあり、不安だらけだった。

このままでは国は滅びてしまう。そう考えた家臣は、これからの国を案じて、王にある提案をした。

「ああ王様。あなたは生まれてから一度もお笑いにならない。この世にはたくさん面白い事柄があります。どうでしょうか？ あなた様を少しでも笑わせた者に、次期国王の権利を譲るというのは」  
王は、一度笑うということを経験してみたのか、それを快く承諾した。もちろん、家臣は笑わせた者に国王の権利を譲渡する気など、さらさらなかった。ただ一度でも、王に笑ってもらいたかったのだ。

家臣は、明くる日の早朝にお触れを出した。

その日のうちに国のあらゆる場所に噂が広まり、国中から、そして全世界から王を笑わせてやろうという猛者が城に集結した。

己の顔を使って芸を披露する者。

己の体を巧みに使用して笑いをとる者。

言葉巧みに笑いを誘う者。

わざと転んで見せるなど、体を張った芸をする者。

例外として、裸で芸を披露する者がいた。

余談ではあるが、その者は投獄された。

一日に、百、二百という人物が王の前で芸を披露したが、王はくすりと笑わなかった。それどころか、日を追うごとに笑う気配が消えていった。王だけではなく、家臣や国の人間からも笑顔が消えていった。

そんなある日のこと。いつものように芸人が芸を披露し、王が欠伸をしている時のことだ。突然、城下町から空を裂く慟哭が国中に響き渡った。王は飛び上がり、窓から城下町を見下ろしてみると、城下町は戦火に包まれていた。まことしやかに囁かれていた出来事が起ってしまったのだ。

この国は、敵国の襲撃を受けている。

突然の襲撃に兵は狼狽し、とてもではないが冷静に対応するなどということはできなかった。そのため、あっという間に城下町は敵国に蹂躪され、兵士たちは城へと侵入してきた。

敵国の兵士は、城へ芸を披露しに来ていた者も、兵士も、女も子供も、王を一番に案じていた家臣も、すべての人間を例外なく殺していった。

王は死体の山を踏み越えて逃げた。だが、既に王を守る兵士は全滅し、彼一人しか残っていない。もう、彼に逃げる場所など存在しない。だが、後ろからは兵士が迫ってくるのだ。逃げないわけにはいかない。

しかし、必死の逃走も無駄に終わる。王は死体につまずき、転んでしまったのだ。尻を地面にこすりつけて、後ずさりをする。兵士の進行は止まらない。

そして、とうとう王は追い詰められてしまった。周りには焼ける死体しかない。焼けつく肉の臭いが鼻を突き刺す。

「哀れな王よ。観念するのだ」

敵国の兵士が槍を王の首に突き付けた。少しずつ首に槍が刺さり、じわりと鮮血が零れ落ち始める。

その時。

「ハッ……ハハハ……アハハハハハハ」

王の口が歪み、大きな笑いが部屋中にこだました。思わず兵士は槍を首から離して、王を凝視した。王は涙を流して、死体の上を転がりまわって笑っていた。

恐怖と悲しみに屈した彼は、笑うことができなくなっていた。

その笑いが、王にとって最初で最後の笑いとなった。

そして国は滅び、敵国が支配する国となった。

（後書き）

笑うことって素晴らしいですね。

みなさんも一緒に、声高らかに笑って生きていきましょう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0488o/>

---

ワライゴエ

2010年10月10日18時18分発行